

第1回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録（要点筆記）

会議の名称	第1回吉見町立学校適正規模等検討委員会
開催日時	令和3年7月21日（水）午後2時00分から午後3時40分まで
開催場所	福祉会館 会議室
出席委員	久保田秀至委員、小池幸委員、杉田しのぶ委員、樋口肇委員 静政之委員、村田浩委員、塩原憲孝委員、内田哲雄委員 鈴木恭代委員、木田諭史委員、峯田真奈美委員、田村はるみ委員
欠席委員	新井和利委員、金澤美智子委員
事務局	教育長：大澤幸正、教育総務課長：矢嶋久雄、同課長補佐：西村敦 教育総務係長：柴宗樹、学校教育係長兼指導主事：木伏佑輔 同係長兼指導主事：柳澤拓也
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状の交付 3. 教育長あいさつ 4. 自己紹介 5. 委員長・副委員長の選出 6. 委員長あいさつ 7. 諮問書の提出 8. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員会の設置目的・検討事項等について (2) 吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他 9. 事務連絡 10. 閉会
配付資料	資料1 吉見町立学校適正規模等検討委員会委員名簿 資料2 吉見町立学校適正規模等検討委員会設置要綱 資料3 吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書 資料4 吉見町立学校適正規模等検討委員会スケジュール（案） 参考資料 児童・生徒数の推移と今後の見込みについて 諮問書（写）及び諮問理由

司会(事務局)	<p>1. 開会 (午後 2 時 0 0 分)</p>
教育長	<p>2. 委嘱状の交付 出席委員を代表し、久保田秀至委員に委嘱状を交付。 (委員の任期は、委嘱の日から所掌事務が終了するまでの期間)</p>
教育長	<p>3. 教育長あいさつ 大澤教育長よりあいさつがされた。</p>
委員・事務局	<p>4. 自己紹介 事務局職員紹介の後、各委員の紹介</p>
事務局	<p>5. 委員長・副委員長の選出 吉見町立学校適正規模等検討委員会設置要綱第 5 条第 1 項の規定に基づき、委員長、副委員長の選出について諮る。 委員長に久保田秀至委員、副委員長に小池幸委員を選出。</p>
委員長	<p>6. 委員長あいさつ 久保田委員長よりあいさつがされた。</p>
教育長	<p>7. 諮問書の提出 諮問書 吉見町立小学校及び中学校におけるより良い教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資するため、吉見町立学校適正規模等検討委員会設置要綱第 2 条により、次に掲げる事項について貴委員会に諮問します。 諮問事項 (1) 学校の適正規模に関すること。 (2) 学校の適正配置に関すること。 (3) その他教育委員会が必要と認めること。 教育長から委員長へ諮問書が手渡される。</p>
事務局	<p>諮問理由 (原文のとおり) 本町における児童生徒数は、昭和 36 年度の 3,627 人をピークに減り続け、昭和 51 年度には統計開始以来、初めて 2,000 人を下回る</p>

<p>司会</p> <p>委員長</p>	<p>1,999人を記録しましたが、昭和50年代に入ると西部丘陵地域の宅地造成が活発に行われ、また、東第一小学校区で土地区画整理事業（東野一丁目～東野六丁目）が実施され、児童生徒数も増加に転じ、平成8年度には、直近30年間のピークである2,841人に達しています。</p> <p>しかしながら、人口減少及び少子高齢化の進展に伴い、平成20年度には再び2,000人を割り込み、その後も減少が続き、現在に至っています。今後の推計からも、更なる児童生徒数の減少は避けられず、適正な学校規模の維持はますます困難になることが予想され、このまま児童生徒数の減少が進行すると、子どもたちの学習や学校生活への影響、教職員の配置の問題、学校行事の縮小、PTA活動などの保護者負担の増大等、次第にデメリットの方が大きくなることが懸念されます。</p> <p>子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、お互いに切磋琢磨しながら、学力・学習意欲を高め、心と身体を健やかに成長させる教育環境を実現するためには、小中学校は一定の集団規模を確保することが必要であり、全国的に研究や取組が進められている小中一貫教育や義務教育学校についても見解を深め、本町の教育に効果的に取り入れていく必要があると考えられます。</p> <p>このような中、平成27年1月に学校規模のあり方に関する国の方針が示され、本町においても、小中学校の適正規模や適正配置についての検討、特に今後を見据えた小学校の方向性を検討する時期にあることから、令和元年度に吉見町立学校あり方研究協議会を設置し、幅広い見地から調査、研究を行い、その成果として、「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」をまとめていただきました。</p> <p>つきましては、この報告書に書かれております、今後の学校のあり方についての提言を受け、将来の本町を担う子どもたちが質の高い教育が受けられるような学校づくりに向けて、吉見町の学校の適正規模、適正配置等について、教育的視点からご協議をしていただき、ご答申いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>8. 議事</p> <p>進行については、委員長にお願いする。</p> <p>議事（1）委員会の設置目的・検討事項等について、事務局より説明を求めます。</p>
----------------------	---

事務局	<p>議事（１）委員会の設置目的・検討事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料２】吉見町立学校適正規模等検討委員会設置要綱 <p>要綱に基づき、委員会の設置目的、委員の任期等について説明がされた。</p>
委員長	<p>質疑等をお受けします。</p> <p>（質疑なし）</p>
委員長	<p>質疑ないようですので、議事（１）委員会の設置目的、委員の任期等については事務局の説明のとおりとします。</p>
委員長	<p>次に。議事（２）吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書について、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>議事（２）吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【資料３】吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書 ・【参考資料】児童・生徒数の推移と今後の見込みについて <p>資料に基づき、あり方研究協議会における協議の過程、また、直近の児童・生徒数の推移状況を説明。</p> <p>更に、本委員会の検討事項の基礎となる吉見町立学校あり方研究協議会からの提言について説明。</p>
委員長	<p>質疑等をお受けします。</p>
委員	<p>あり方研究協議会の提言２の中に、「小学校と中学校を再編しての小中一貫教育を実施することなどを検討する必要がある」とあり、また、諮問理由の中でも、小中一貫教育や義務教育学校に触れていますが、本検討委員会において、小中一貫校あるいは義務教育学校を取り入れていくという方向で検討するのでしょうか。</p>
事務局	<p>あり方研究協議会の協議は、ゼロベースからスタートしており、協議を進める過程において、吉見町の児童・生徒数の現状の把握、そして、現場である学校を見ていただくなどして、最終的に、小学校の再編・統合等は避けられるものではないという提言をいただきましたが、小中一貫校等について踏み込んだ議論はされませんでした。</p>

	<p>本委員会では、小中一貫校、義務教育校等についても議論を深めていただければと考えております。</p>
委員長	<p>他に質疑等ございますか。</p>
委員	<p>小中一貫校や義務教育学校は通常の学校と比べ、違いはあるのですか。</p>
事務局	<p>一般的に、小中一貫校、義務教育学校共に9年間を通し一貫した教育課程を経るものですが、小中一貫校は小、中で別の校長先生ですが、義務教育学校では校長先生は1人です。次回以降、こうした情報について資料等を提供してまいります。</p>
委員長	<p>他に質疑等ございますか。</p>
委員	<p>提言3で老朽化した学校施設への対応とありますが、学校は地域のコミュニティ活動や防災対策の拠点となっており、現在も老朽化が進む中、学校の耐震性等についての見解があれば教えてください。</p>
教育長	<p>耐震性等についてのご質問ですが、現在、小・中学校の7校とも法的機関が定める耐震性は有しております。しかしながら、昭和40年代に建てられた建物も多くありますので、今後、適切な維持・管理に努めてまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>提言の中には通学に関する記述が見受けられませんが、統合等された場合の通学路についての考えをお伺いします。</p>
事務局	<p>あり方研究協議会では、具体的な統合事例についての議論はなかったため通学路、通学方法についての踏み込んだ議論まで至りませんでした。本委員会では具体的に通学路、通学方法について議論していただきたいと考えております。また、仮にスクールバスの検討についての答申をいただいた場合は、具体的にスクールバスの運行、配置について教育委員会として検討してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>この委員会は、再編ありきで話が進むのでしょうか。</p>

委員長	<p>諮問理由にもありましたが、学校の適正規模、適正配置等について統合、再編含め議論をお願いします。</p>
委員	<p>スケジュール的に、今年度答申が出されても、来年度すぐにはできる訳ではないと思うのですが。</p>
委員長	<p>統合するとして、いくつにするのか、どこにするのか等をまとめて答申できればと考えます。</p>
事務局	<p>委員会からいただいた答申全て実現するとは限りませんが、今年度、適正規模（学校の数）、適正配置（学校の場所）について議論していただいて答申をいただき、その後教育委員会、町で協議し、その内容如何によっては計画等を策定しますが、その過程においては住民の皆さまや保護者の方々への説明を十分にした後、具体的に進められるものと考えております。</p>
委員長	<p>他に質疑もないようですので、吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書については、この提言を引き継ぎ、本委員会で更に検討を重ねるということでご理解いただけたかと思います。</p>
委員長	<p>次に、議事（3）今後のスケジュールについて、事務局より説明を求めます。</p>
事務局	<p>議事（3）今後のスケジュールについて ・【資料4】吉見町立学校適正規模等検討委員会スケジュール（案）資料により、今後のスケジュールについて説明。</p>
委員長	<p>質疑等をお受けします。</p>
委員	<p>9月に予定する町立学校の視察では校長先生などとお話する機会はありますか。</p>
事務局	<p>前回（あり方研究協議会）の学校視察では、校長先生、教頭先生と意見交換を行う場がありましたが、今回も同様に行いたいと考えています。 また、前回は西小と東二小を視察しましたが、今回どの学校を視察先にするかは、現在検討中です。</p>

委員	<p>今後、検討を進める中で専門的な知識を有する、学校の先生方に意見を伺うのはどうでしょうか。委員として校長先生のお二人にも参加いただいておりますが、現場の先生方の意見が大事なのではないかと考えます。いろいろな学校を異動等で経験されている小・中学校の先生方全員から聞いていただき、本委員会に意見が反映されるようになればいいのかと考えます。</p>
事務局	<p>学校の先生方の意見も重要かとは考えますが、学校の再編の検討は、子ども達の目線を第一に考えながら進めたいと考えますので、委員の皆様、校長先生もおられますので、ご意見を伺いながら進めさせていただければと思います。</p>
委員	<p>先生の中には、再編等の経験や知識をお持ちの先生もいると思います。学校の再編、統合といった問題は非常に重要であり、事務局としても資料提供なども含め、強く協力いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ただいまのご意見もありましたので、現場の声として校長先生からもご意見いただければ。</p>
委員	<p>私自身は、校長代表選出となつてはおりますが、校長会などを通じまして依頼いただければ、各学校の先生の意見等を吸い上げ、この検討委員会の場でご報告ということもできるかと思います。</p>
委員	<p>私が昨年度まで赴任しておりました学校が、小中一貫教育推進校に指定されておりました。小中一貫校とは違いますが、小学・中学を通じ教育する現場に携わってきましたが、そこで問題となっていたのは、吉見町と同様に子ども達が年々減少し、クラス替えができなくなるという危機感がありました。クラスが減れば先生の数も減り、子ども達の活動の場も減ってしまいます。吉見町ができるだけそうならないよう、中学校の立場から委員会に尽力できればと思っております。</p>
委員長	<p>副委員長も校長を歴任されておりますので、一言いただければ。</p>
副委員長	<p>あり方研究協議会において、現在の小学校6校体制では難しいだろうと結論づけられておりますが、吉見の子ども達の未来のために、素晴らしい歴史のある吉見町の小学校を、断腸の思いで今なんとかしなければ、クラス替え等のできる学級編成ができないままの</p>

	<p>状態が続いてしまいます。</p> <p>私も娘も町内の小学校に通学していましたし、孫は今も町内の小学校に通学しています。素晴らしい町内の小学校6校を、今後、いくつにするのかを検討するうえで、各学校の伝統や歴史を重んじ、そして将来の子どもたちが、県内で標準的とされる複数学級以上の環境で学校生活を送ることができるよう進めることが理想だと考えております。</p>
委員	<p>先ほど、先生たちから意見を吸い上げてとのお話がありましたが、アンケートを取っていただくということは可能でしょうか。</p>
委員長	<p>ただ今、アンケートをとのご意見がありましたが、事務局の考えもあるかと思いますので。後日、協議とさせていただきます。</p>
委員長	<p>それでは、意見も出尽くしたようですので、今後のスケジュールについてご承認いただけますか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>ご異議なしと認めますので、資料4の吉見町立学校適正規模等検討委員会スケジュール(案)の“(案)”を削除願います。</p>
委員長	<p>議事(4)その他について、事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>検討委員会の傍聴及び会議録について説明。</p> <p>本検討委員会は、吉見町教育委員会傍聴人規則に準じ、原則、傍聴を許可したいと考えます。また、検討委員会会議の開催の際は、町のホームページでお知らせしたいと考えております。</p> <p>次に、会議録の仕様は要点筆記とし、委員の皆様にご確認いただいた後、同じく町ホームページで、個人名は伏せた形で公開したいと考えます。</p> <p>この2点についてご了解いただきたい。</p>
委員長	<p>説明のありました2点についてご異議等ございますか。</p> <p>(異議なし)</p>
委員長	<p>異議なしですので、会議録は要点筆記とし、次回会議前に前回会</p>

事務局	<p>議録案を各委員に配布し、会議録を決定いたします。また、会議は原則公開といたします。</p> <p>他にはございますか。</p> <p>次回会議の日程について説明。</p> <p>次回、第2回吉見町立学校適正規模等検討委員会は、スケジュールにありますように、滑川町の月の輪小の学校見学といたします。</p>
委員長	<p>それでは、次回会議は事務局案のとおりとさせていただきます。</p> <p>なお、当日都合がつかない等の連絡は事務局まで事前にご連絡をお願いします。</p> <p>議事は以上ですが、全体を通し何かございますか。</p> <p>(特になし)</p>
委員長	<p>慎重審議ありがとうございました。これで、すべての議事が終了しましたので議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>9. 事務連絡</p> <p>謝金支払先の銀行等の登録について、用紙の提出のお願い。</p>
副委員長	<p>10. 閉会</p> <p>閉会あいさつ</p>